

■Propeller の紹介■

Propeller は、Parallax 社が製造している、CPU を 8 個内蔵したチップです。
ちょっと変わっていますが、ふるまいは素直なので、使ってみると楽しいですよ！



■仕様■

動作電圧	3.3V
周波数	80MHz ~ DC
コア数	8
汎用 I/O	32 pins (Max 30mA/pin, 100mA/8pins)
RAM 容量	32KB + 2KB/Core、コード/データ共有
ROM 容量	32KB (フォント・sin/log テーブル・Spin インタプリタ)
Flash(EEPROM)	外付け
消費電流	0.05mA/MIPS(全コアフル稼働時で 8mA)
その他機能	カウンタ・PWM ジェネレータ(2 個/Core) TV/アナログ RGB 信号出力モード有
対応言語	公式:Spin スクリプト・Spin アセンブリ 非公式:C・Java・Fortran・BASIC ほか

■ここが良い！■

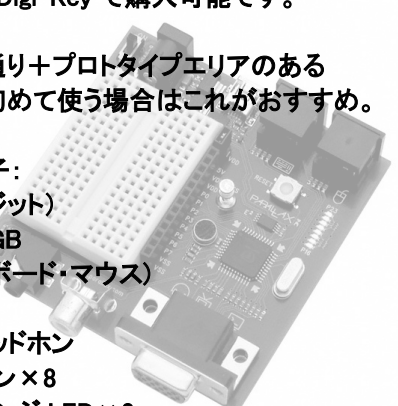
- 開発キットは USB 接続+スクリプト(IDE 有)ですぐに試せる
- 公式のライブラリ登録所やフォーラムがある
- パワフルで省電力、価格も DSPIC と同じくらい、静電気への耐性あり
- コアごとの完全な並列動作、記述しやすいアセンブラ、強力なカウンタ



■ここが不便…■

- 演算能力に比べるとメモリ量が少ない、RAM を繋ぐには I/O ピンが少ない

■本日の展示に使用しているキット■

Demo Board	Proto Board
<p>価格は \$80、Digi-Key で購入可能です。</p> <p>入出力を一通り+プロトタイプエリアのあるキットです。初めて使う場合はこれがおすすめ。</p> <p>実装済み端子: TV(コンポジット) アナログ RGB PS/2(キーボード・マウス) マイク ステレオヘッドホン 汎用 I/O ピン×8 高輝度オレンジ LED×8</p> 	<p>価格は \$25、Digi-Key で購入可能です。</p> <p>全ての I/O ピンが自由に使えるキットです。端子は何もついていませんが、安いです。5V1A の出力があり、サーボの駆動もできます。</p> <p>USB 接続のために Prop Plug(\$20) が必要です。</p> 